

ふれあい食事処
明舞ひまわり

ひまわり

2005年3月10日
通信第7号
明舞団地明舞センター
Tel/fax078-783-7784

ふれあい食堂4月からも継続

NPOひまわり会の理事会で確認

「明舞ひまわり」は一昨年10月に開店し、2カ年にわたって取り組んできましたが、兵庫県の「明舞団地居住地再生モデル事業」としての2年間は、この3月で終了します。

「食をとおした福祉コミュニティづくり」をめざしてスタートしたこの事業は、果たして初期の目的を達成できたのだろうか。スタッフは毎日の食事づくりに追われながら、他方でこうした問いを自らに投げかけながらの1年半でした。そんな中で、食堂と野菜の販売を実質的に運営・経営してきた「NPOひまわり会」は2月5日に開いた理事会で、4月以降もこの事業を継続していくことを確認しました。

事業の継続にあたっては、県や公社などとの新しい契約をどうするか、2004年度の収支決算、地域のニーズに応えられる内部の体制づくりなど多くの課題を議論し、次期総会までに方向を明確にすることになりました。今後とも「明舞ひまわり」の応援をお願いします。

新春餅つき大会で新しい年をスタート

すすむ“草の根交流”

1月8日(土)明舞センター1階広場で行われた新春餅つき大会は、明舞商店会とNPOの共催、明舞団地まちづくり推進協議会、明舞団地連合自治協議会の協賛で、昨年の9月から準備してきたもの。その間紆余曲折はあったものの「成功させよう」の機運が盛り上がり、盛況のうちに無事終了した。

「明舞ひまわり」がその推進・調整役になり、初めて地域にデビューした感があった。餅米65Kgはひょうご農業クラブから購入、3名のボランティアが前日に洗米、浸漬してくれた。ひまわりのボランティアを総動員、地域の方々が細かな配慮をしてくださり、ひとつのイベントを成功に導くのに如何に多くの協力が必要かをあらためて思い知った。本当にありがとう。ご苦労さまでした。子どもの飛び入りあり、先日のコンサートに出演してくれた西脇小学校の生徒さんへのお礼の気持ちも含めての招待ありで、会場は一段と華やいだ。これこそ草の根の交流だろう。

フォトコンテストも予定どおり実施。2階のまちづくり広場に展示、住民の人気投票で入選者を決め、30日に表彰も無事終了した。

ひまわりの弁当、好評

農業研修ツアーからも注文

最近、「ひまわり」のお弁当が、お客様のロコミで静かなブームを呼んでいる。そのひとつとして今回、北淡路農業改良普及センターの食品加工部門で研究開発している女性グループが明舞センター「みのりの里」に立ち寄られ、「ひまわり」のお弁当を利用された。これに先立ち、普及主査の辻さんがわざわざ下見に来られ、試食をしたうえでの依頼だった。当日は、一人前1000円の豪華版22個の準備にスタッフは大忙しだった。



配食グループ「まないた」来訪

大久保町・高丘で10年の活動、70名の先輩ボランティア

大久保町高丘のボランティアグループ「まないた」は10年の配食サービスのキャリアをもち、70名を擁する食事サービスのボランティアとしては大先輩のグループです。1月14日には12名の方が「ひまわり」に見学に来られた。当日は一般のお客様もひっきりなしにお見えになり、もっともっと交流したいという気持ちを抑えてお別れした。

グループ「まないた」来店の日の献立 材料

☆ 主采: 手づくりひろうす 乾椎茸	豆腐、人参、ひじき、鶏シチ、
里芋の田楽そえ	里芋、八丁みそ、けし粒
☆ 副菜: 炊き合わせ の花	大根、人参、こんにやく、菜
☆ 副々菜: ミニ茶碗蒸し ば	卵、ぎんなん、ゆり根、みつ
☆ 汁 : 味噌汁	わかめ、うす揚げ、青葱
☆ 甘味 : さつまいもの茶巾	さつまいも、抹茶、くちなし
☆ ご飯 : 黒豆ずし	白米、黒豆

◎利用者の声◎

家庭的な、おふくろの味が嬉しい

近所の方から聞き、幾度かお店の前まで来たがあいにく閉まっており、やっと初めて「ひまわり」でお食事できたのは、昨年秋の初めごろでした。

壁には美しい写真と日々のお献立表がはってありました。とても家庭的で、ほんとうの「おふくろの味」が美しく盛り付けられ、量も年配者にほどよく、私はすっかり病みつきになってしまいました。一人暮らしでは、自分で作っても、買っても無駄になることが多いこのごろ、ほんとうに助かっております。

宅配の制度もあるようですが、今のところ行きたい所へ自分で行けるありがたさを感じながらお世話になっております。スタッフの皆様もご健康に気をつけて頑張ってください。

(松ヶ丘4丁目 鮎川富美)



明舞ひまわりのミニ・デイサービス「折り鶴教室」

ボランティアのことは

松本寿美子

信頼に甘えず、プロめざして精進

「ひまわり」が開店して1年数ヶ月が過ぎ、順調にお客様も増え、明舞センターでもちょっと名前が知られるようになりましたが、この一年の慌ただしい環境に、なかなか私の体が慣れてくれず、時々悲鳴をあげています。でもお店にすれば、ボランティアもお客様も家族みたいに和やかで、疲れも忘れてしまいます。

一年経ったといっても、決してお客様に満足していただけている状態ではなく、時々「このお味付けは薄過ぎるな」と思うことがあり、次回はもうお出でにならないのでは…などと心配します。でも次の日、笑顔で入ってこられると、うぬぼれかもしれませんが「信頼してもらえてるんだ」と嬉しくなります。この信頼に甘えることなく、少しでもプロに近づけるように、ていねいに厳しく頑張りたいと思います。(明石市・太寺)

野菜販売担当の馬場さんが退職 「明舞ひまわり」のオープン以来、野菜の販売を担当してきた馬場正宣さんが、1月末でひまわりを退職しました。店頭での呼び声で、多くのお客さんに親しまれてきました。ご苦労さまでした。野菜は当面、ひまわりスタッフの大西東洋司さんが担当しています。